O-U NEWS Vol.35
平成２８年３月３１日発行
岡山大学広報・情報戦略室
OKAYAMA UNIVERSITY

トピックス

■おかやま地域発展協議体を創設　産官学民が連携

本学は４月１日、岡山県内の産官学民が連携して地域の課題解決にあたるプラットホーム「おかやま地域発展協議体」（委員長・荒木勝理事・副学長（社会貢献・国際担当））を創設します。森田潔学長が掲げてきた「学都構想」に基づく取り組みで、本学が有する多様な分野にわたる専門性や大学機関という公正中立的な立場を地域貢献に積極的に活かしていくことが狙いです。

本協議体は、岡山商工会議所、一般社団法人岡山経済同友会、岡山県、岡山市、倉敷市、中国銀行、山陽新聞社、本学の８団体で構成。本学地域総合研究センターが事務局となり、活動状況を見極めながら他の経済団体や NPO 等にも参加を呼びかけていく予定です。

参考　http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id5576.html

■地球物質科学研究センターを改組し、「惑星物質研究所」を設置　JAXA の宇宙科学研究所との研究教育連携も推進

本学地球物質科学研究センターは４月１日、国際共同研究教育拠点として活動を一層活性化させるため、組織体制を拡充し、「惑星物質研究所（Institute for Planetary Materials)」へと改組します。また、同研究所と国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙科学研究所は、研究・人材育成を目的とした連携協力を行います。

３月 10 日、鳥取県東伯郡三朝町で、記者会見を行い、中村栄三地球物質科学研究センター長、神崎正美副センター長、宇宙科学研究所の稲谷芳文副所長、藤本正樹研究主幹が出席しました。

参考　http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id5524.html

最近の大学の取組

■岡山大学・津山中央病院共同運用「がん陽子線治療センター」開設記念式典を挙行

本学と津山中央病院は３月 20 日、共同で運用する「がん陽子線治療センター」の開設記念式典を挙行しました。

本センターは鉄筋コンクリート地上３階、地下１階建て（延べ床面積約 3900 平方メートル)。陽子線の治療施設としては中・四国地方初となり、西日本の治療拠点として期待されています。

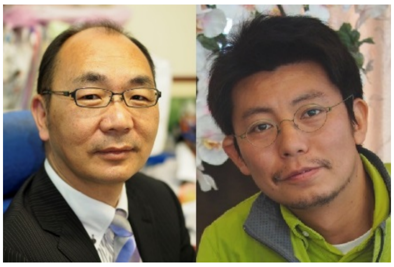
参考　http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id5575.html

■長瀬産業株式会社と連携・協力に関する協定を締結

本学と長瀬産業株式会社は３月 22 日、学術研究の振興と研究成果の社会活用の推進を図ることを目的として、連携・協力に関する協定を締結しました。

本協定では、長瀬産業株式会社の関連企業である株式会社林原が事業を展開する食品原料、医薬品原料、化粧品原料、健康食品原料、機能性色素等のライフサイエンス分野を中心に連携・協力を進めていきます。　参考　http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id5549.html

■馬建鋒教授、山地直樹准教授がトムソン・ロイター社の「2015 年高被引用論文著者：論文の引用動向分析による、影響力の高い科学者」に選出



トムソン・ロイター社がその年の最も注目を集めた研究者を選定する「論文の引用動向分析による、影響力の高い科学者」（2015 年）に、本学から資源植物科学研究所（IPSR）植物ストレスグループの馬建鋒教授（写真左）、山地直樹准教授が選出されました。本学からの選出は今回が初めてであり、一度に 2 人の選出は極めて画期的なことです。

「高被引用論文著者（Highly Cited Researchers）」は、科学研究の各分野において高い影響力を持つ科学者を論文の引用動向から分析したもので、今回は全世界で 3,126 人の科学者が選出され、日本の研究者は 80 人が選出されています。

参考　http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id5493.html

■本学の自然科学分野における高品質論文数の伸び率が全国第 2 位に

自然科学分野における「研究の量・質」を分析しているネイチャー・パブリッシング・グループ（Nature Publishing Group）が発表している「Nature Index」において、本学の自然科科学分野の高品質論文数の伸び率が全国第 2 位となりました。本調査結果は、3 月 17 日に公表されたレポート「Nature Index 2016 Japan」の分析により明らかとなりました。

参考　http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id5564.html

最近注目の研究

■人工的に付けた目印でがんを攻撃する！新たながん治療法を開発　がんを特異的に攻撃する分子標的治療の適応拡大へ

岡山大学病院低侵襲治療センターの香川俊輔准教授、米国国立がん研究所（NCI）らの研究グループは、遺伝子改変ウイルス製剤を用いて、標的抗原のないがんに人工的に標的抗原を発現させ、既存の抗体医薬品を用いた近赤外線光線免疫療法を応用する新たな治療法を開発し、ヒト胃がんを腹腔内に移植したマウスでその効果を実証しました。本研究成果は、米国の科学雑誌『*Molecular Cancer Therapeutics*』電子版で公開されました。

参考　http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id375.html

学生の活躍

■理学部の増本さんがサイエンス・インカレでグッドパフォーマンス賞を受賞

文部科学省主催の第 5 回サイエンス・インカレが 3 月 5～6 日、神戸国際会議場で行われ、本学理学部生物学科 3 年（フロンティアサイエンティスト特別コース）の増本絢音さん（写真右）が、口頭発表部門でサイエンス・インカレ・コンソーシアム奨励賞のグッドパフォーマンス賞を受賞しました。

サイエンス・インカレは、自然科学分野を学ぶ全国の学部生等が自主研究を発表し、競い合う場を提供することにより、学生の能力・研究意欲向上と科学技術人材育成を目的としたものです。第 5 回目となった今回は、口頭発表部門・ポスター発表部門で計 279 組の応募があり、書類審査後、178 組の発表が行われました。　参考　http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id5542.html

---

岡山大学公式ホームページ　http://www.okayama-u.ac.jp/
岡山大学 Facebook ページ　https://www.facebook.com/OkayamaUniversity
岡山大学 Twitter　https://twitter.com/okayama_uni
岡山大学チャンネル　https://www.youtube.com/user/okayamaunivpr/videos
【お問合せ先】　岡山大学広報・情報戦略室
Tel：086-251-7292, 7293　Mail：www-adm@adm.okayama-u.ac.jp